

♪ サポランド News ♪

2024.9月号
VOL.52

【発行】特定非営利活動法人 在宅支援センターサポートランド二十一

〒819-0380 福岡市西区田尻東3丁目2707-3 TEL・FAX (092) -807-4477

在宅支援センター

ひだまり

〒814-0162

福岡市早良区星の原団地3 2-1 04

TEL092-874-5003

FAX 092-874-5009

Email hidamari5003@yahoo.co.jp

障がい福祉サービス事業所

わくわくランド

〒819-0373

福岡市西区周船寺 3-3-1

TEL092-834-9963

FAX092-834-9964

Email wakulandworks@yahoo.co.jp

今津特別支援学校 放課後等支援事業
ほのぼのルーム

〒819-0165

福岡市西区今津 54 13(今津特別支援学校内)

TEL092-806-8182

FAX092-806-8182

Email honobono@dune.ocn.ne.jp

各事業所の活動は <https://www.support-land21.com> で紹介しています。

ニュース・ブログ等更新していますので、毎日ワンクリックのご支援をお願いします☆

★わくわくランド★



朝夕が過ごしやすくなってきましたが、日中はまだ 30 度を超える日が続いています。気温の差や季節の変わり目には体調を崩しやすくなっていますので、皆様もお気をつけ下さい。

今年の10月より社会保険加入条件の「従業員100名以上」から「従業員50名以上」となります。2022年にも、周りから多くの質問があり、お答えさせていただきましたが、単純に「働いている人が50人以上いる施設・会社」ではありません。ここでの人数（従業員）とは“厚生年金保険の適応対象者”の人数になりますので、フルタイム（正社員）とフルタイムの3/4働いている方の合わせてた人数になります。わくわくランドでいうと週30H未滿（月120H未滿）の方はこの人数に含まれません。扶養から外れて社会保険の適用になるかどうか不安な方は一度、勤め先にご相談されるとよいと思います。

寄付をいただきました

宮辰建設 様 田中亮二 様

障がい福祉サービス事業所 わくわくランド
施設長 小林 潤也

日頃よりわくわくランドへのご支援をありがとうございます。

9月の予定

16日(月)敬老の日(わくわく休み)

23日(月)振替休日(わくわく休み)

29日(日)ぴあマルシェ バザ-出店(予定)

10月の予定

5日(日)ぴあマルシェ バザ-出店(予定)

14日(月)スポーツの日(わくわく休み)

募集中!

W.W.L
WakuWaku land

一緒にわくわく😊働きませんか?*

子育て世代の方には働きやすい環境です!!

★勤務時間は 9:30~16:30

★学校行事等を優先できます!(^^)!

★勤務当日にお子さんの体調不良でも休めます!

★無資格、未経験でもOK♪

★運転できる方も大歓迎☆

♪小林(こばやし)までご連絡(834-9963)を♪

☆お祭りレクリエーション☆

各事業所、お祭りレクリエーションを開催しました!(^^)!



今月のスタッフ紹介★

名前:小柳 美穂
誕生日:11月24日 いて座のA型
趣味:バレーボール、押絵(古布手芸)、
映画、音楽鑑賞、読書
好きな言葉:素直と感謝



☆多わくわくランド紹介動画☆≡

<https://youtu.be/WmBhcyF0Pil> で検索。もしくは右のQRコードへ!





在宅支援センターひだまり



日差しはまだまだ夏ですが日が落ちるのが随分と早くなってきました。
 さて8月のミーティングで事故対応や緊急時の対応についての研修を行いました。
 南海トラフ地震臨時情報が発表された事もあり、利用者さんの緊急時の対応や緊急時の連絡先を再度確認させていただき、必要な情報についてはヘルパーさんとも共有していけたらと思います。

ひだまり 吉村 麻衣子



ヘルパーミーティング

事故対応・防止、緊急時対応について



事故とは・・・介護サービス中に発生するすべての人身事故で、身体的・精神的被害が生じたもの。事業所の過誤、過失の有無は問わない。

～介護事故の例～転倒、誤薬、外傷、異食、窒息・誤嚥、交通事故、入浴事故など



事故防止の取り組みとして

- ① 未然に防止するための対策の立案・実施
- ② 再発防止策を適切に立案・実施



身体拘束・行動抑制・プライバシーに十分に配慮したものでなければならない。

事故防止の基本・・・利用者様に対して①アセスメント②適切な方法で支援③観察

→P(plan・・・計画) D(do・・・実行) C(check・・・評価) A(action・・・対策・改善)を回す。

また、利用者様・支援者それぞれの側面からの環境整備、確認も必要。

※事故には対応しても防げない事故もある。防げない事故を起こさないようにすると、身体拘束的対応が発生することがある。

そのため、防げるのか、防げないかをしっかりアセスメントを取ることが必要。

→利用者様、ご家族に対してリスク・ケアの説明を行う。それらは支援者・事業所も共通認識をもち、記録に残すようにする。



ヒヤリ・ハットの事象をしっかり把握・振り返り・対応していくことが大事。

事故対応において、もっとも大切なことは『すぐに報告すること』。

～対応手順～

- ① 初期対応・・・本人様の状態確認、事故発生連絡(家族・事業所・関係機関)、状態に合わせた処置を行う
- ② 関連機関への連絡・・・事故内容の記録、行政への連絡・報告を行う
- ③ 再発防止策の策定と実行・・・事故の要因分析を複数の職員で話し、再発防止策を立案する。

【緊急時対応】

・利用者様の状態観察をしたうえで明らかに通常の様子と違う様子(激しい頭痛、呂律が回らない、呼吸困難、意識消失、痙攣など)があれば、救急車を要請する。

↓

本人様の変化に気付けるためにも、日々の利用者様の観察が大事。

※緊急時対応は発生頻度が少なく、対応に困ると思います。利用者様の特変時にはまず落ち着いてご家族・事業所にすぐ連絡し、対応・指示を受けるようにお願いします。



ほのぼのルーム



夏休みが終わり、元気な声が学校に戻ってきました。九月に入っても、毎日暑い日が続いています。皆様におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

ほのぼのルームでは、長かった夏休みを元気に乗り切り、実りのある二学期を充実して過ごせるようにスタッフ一同頑張っています。楽しい活動、感動する体験、好きなこと探しを、さらに究めていきたいと思えます。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、五年に一度、一般公募される福岡市こども未来局の「放課後等支援事業」、当法人が次の五年も継続して運営することとなりました。今までの経験と実績を生かして、更により運営ができるように工夫してまいりますので、いろいろなご意見をお寄せいただくようお願い申し上げます。

放課後等支援事業 ほのぼのルーム

管理責任者 山口 孝太

活動のテーマとしては、一人一人の安全の確保を基本に、さらに「心地良さ」を主題として取り組んでいます。光・風・音楽・笑顔・温かい声かけなどを通して、楽しく安心して過ごせる環境の調整を大切にしています。

【活動紹介】



マリオカートに挑戦よ！



水遊び楽しい！



水産海洋技術センター見学



スムージー作るよ！



今日おやつは何かな！



蒸しパン作ったよ！